

墓石クリーニングの女

～あきねえ便り～ 4月号

新年度です。子供たちは、新しい環境の中でドキドキワクワクしながらの毎日を送っています。我が家からランドセルが消え、今じゃ朝からネクタイを締めたり、詰め襟を着たり…。ホツとしながらも、そんな彼らにおいていかれないようにアタシも気合を入れなきゃ!!と、なんだか焦ってしまいます。

こんにちは！アタシあきねえです♪
ある時は墓石ケアアドバイザー、ある時は親方と呼ばれる…そんなアタシはたけしょうの看板娘(!?) 浦野明子です！よろしくお願ひしま～す!(^o^)/

私の出逢った素敵な人

土方歳三が眠る石田寺で、一人の青年に出逢いました。彼は、お墓に刻まれた文字を熱心に読み、何か調べているように見えました。土方歳三のことを調べているのかと尋ねてみると、「自分のご先祖様がどんな方だったのかを知りたくて、お墓を調べているのです。」同じ土方家ではあっても歳三の子孫ではないらしく、少しずつ自分のルーツが見えてきて面白いと話してくれました。お墓には沢山の物語があると語る彼とすっかり話し込み、穏やかで聡明な印象の若者を新鮮に感じたあきねえです。

黒と白

最近、やけに浮金ばかり続いています。黒い御影石はデリケートなので、他の石とはちよつと違う洗い方をします。乾いていないと汚れが見えず、光にかざしながら目を皿のようにしてチェックし、少しずつ磨いていきます。終わる頃にはヘトヘトになります…

極めつけは、護国寺の横幅が尺二寸もある大きなお墓。護国寺に参拝した時、お願いしたんです。「この縁がありますように。」



磨きあげてツヤが戻ってきました！

水アカがべったりつき、くすんでツヤがありません。

次に紹介するのは「チノフ」



とってもスッキリしました!(*^*)v!

施工前

施工前

施工後

水アカがきつく、真っ黒です…(@_@)

久しぶりの白御影…ベタリ付着していた水アカを除去し、サビ抜き、彫刻文字の白入れ、砂利交換、全て終わる頃にはこんなにもスッキリ見違えるようになりました！
ん？何か音楽が流れているけど…
霊園の閉園時間が近づいているってことだあ、夢中になつて、もう少しで霊園にお泊り？するところでした…(汗)

土方歳三

幕末の新選組副長。武威国(むさしのくに)多摩郡石田村(東京都日野市)に土方義諱(ぎじゅん)の四男に生まれる。近藤勇(こんどういさみ)とともに新選組の実権を握り副長となった。1864年(元治二)の池田屋事件、禁門の変などで近藤を助けて働いた。1868年(慶応四)4月に下総(しもづか)千葉県流山(ながれやま)で近藤と別れ、以後、宇都宮、今市(いまいち)、会津(あいづ)で官軍と戦った。仙台から榎本武揚(えのもとたけあき)の軍艦に同乗し、11月箱館(はこだて)五稜郭(ごりょうかく)を占領し陸軍奉行並(ふぎょうなみ)となった。明治2年5月11日、箱館一本木で戦死。年35。墓は日野市石田の石田寺にある。



ご覧のとおり、土方歳三はかなりのイケメン。NHK大河ドラマでは山本耕史さんが演じていましたが、どこかなく似ています。

少し入ると『土方歳三の墓』と看板が出ています。←



でも、実は「コ」は移転後のお墓で歳三のお墓は他の場所にひっそりと建っているのです。冒頭で紹介した地元の青年が内緒で案内してくれたのですが、お石塔を削っていく人がいて、公にしないとのこと。だから、ここだけの話にしておいてくださいね。



サオ石がかなり割れていて、屋根と柱で保護しています。

さて、その青年と意気投合し、「就職で悩んだら電話してね〜」と、あきねえ便りを渡したのは言うまでもありません。(笑)

心に沁みる言葉

幸福は辛抱強く待っている者の所にやってくる
幸福は辛抱強く待っている者の所にやってくる

最近はお墓だけではなく、外壁の石やタイルの洗浄、和室のアク抜き、お寺の階段等の洗浄など、様々な案件が増えています。デリケートな墓石のクリーニング技術を活かし、これからもお客様に満足していただけるように頑張ります！

お見積りご相談は、お気軽にどうぞ♪

TakeShoコミュニケーションズ株式会社

〒338-0824
さいたま市桜区上大久保 9-16
TEL 048-699-9731
FAX 048-699-9730

●たけしょうHP

・石材・木材ケアメンテナンス
・墓石リフレッシュ

ハウスリフレッシュで検索
墓石リフレッシュで検索

